

どうぶつのいる つうがくろ
～現代の都市における新しい教育のカタチ～

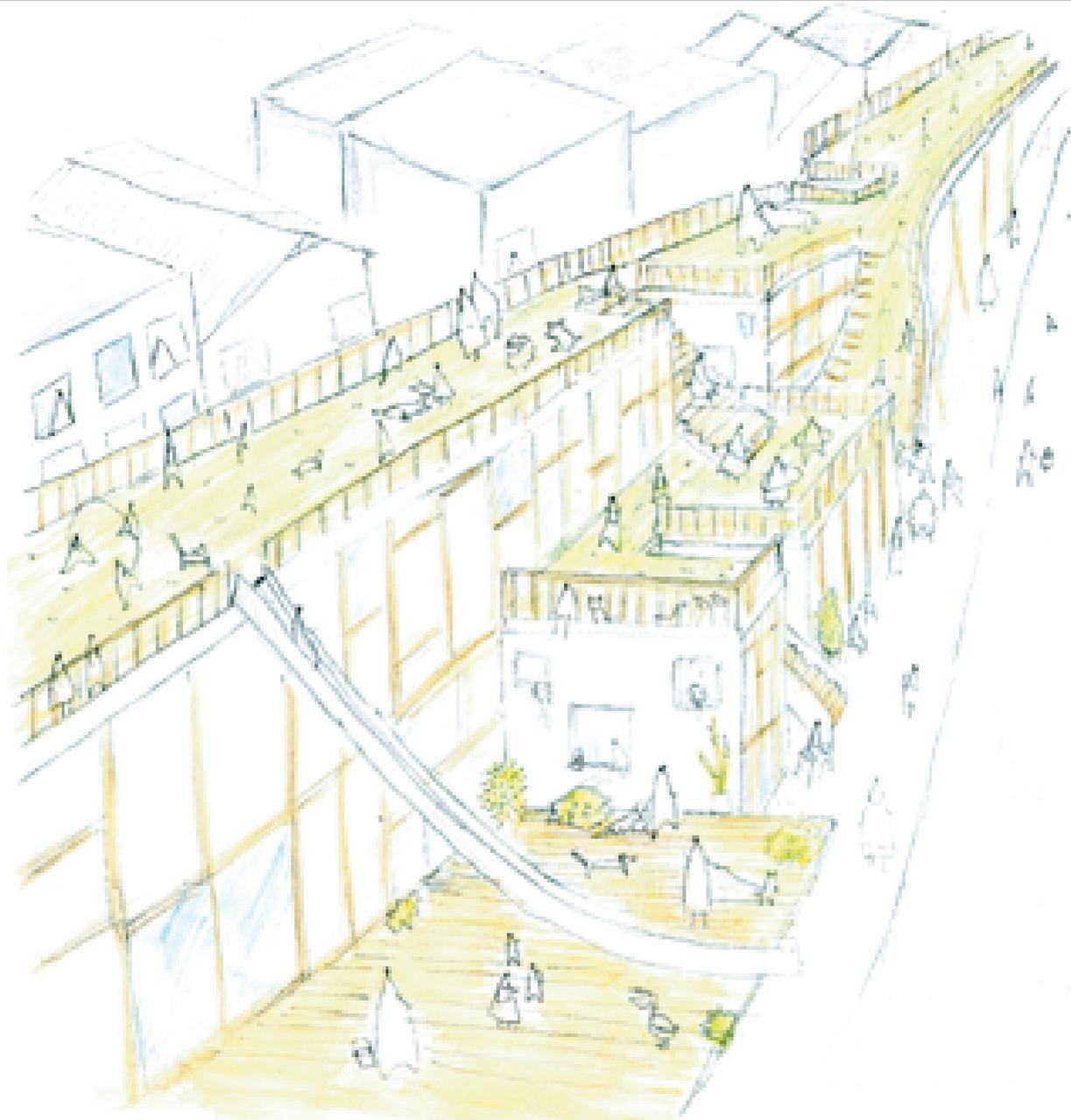
曾我部研究室 久保香織

研究概要:

東急東横線の跡地である1.2kmの道のりに、動物の居る通学路を計画した。こどもにとって最も身近な「通学路」という場所に、こどもと動物が触れ合い、そのことから成長してゆける新しい教育の場を提案する。

研究目的:

通学路という敷地は周辺環境へも影響する。動物が居ることによって、こどもと動物の関わりだけでなく、こどもと地域地住民の関わり・地域住民同士の関わりがより深くなることを目的とした。



苦労した点や感想など:

- 1.2kmある道のりの計画は、全ての作業において人の何十倍もの時間を要したこと。
- 全てを手書きで行ったため、やり直しが利かず、何度も何度も図面を描き直したこと。
- 敷地の調査中、近所の人から不審者扱いをされて何度も警察を呼ばれてしまったこと。
- ・・振り返ってみると、つらくて大変な思い出ばかりですが、最後まで「自分のやりたいこと」「自分のスタイルを貫き通せたこと」はとても大きな自信になりました。